

ユミコア社、(株)日本触媒の概要

ユミコア社(ベルギー)

【設 立】

1805年

【本社住所】

ベルギー ブリュッセル

【従業員・売上高】

従業員 15,000名、資本金 553億円

売上高 1兆 5,000億円超 (2011年12月期)

【沿革】

- ・1805年に鉱山会社として創業。
- ・1906年～68年の社名は「ユニオン・ミニエール」。当時ベルギーの植民地であったザイール(現：コンゴ民主共和国)において、銅、コバルト、スズ、貴金属の開発を行う。
- ・1970年代以降は、貴金属やレアメタル製錬・リサイクル、金属製品・加工品製造や触媒製造など、川下部門に経営の主体を移行。

【事業内容】

貴金属リサイクル、自動車用触媒、バッテリー材料等の研究、開発、生産

【拠 点】

100拠点 (欧州、アジア等)

(株)日本触媒(日本)

【設 立】

1941年

【本社住所】

大阪府中央区高麗橋 4-1-1 興銀ビル

【従業員・売上高等】

従業員 3,576名(連結) 1,910名(単独)、 資本金 250億円 東証・大証一部上場

売上高 2,883億円(連結) 2,064億円(単独) (2011年3月期)

【沿革】

- ・1941年に大阪に設立
- ・1949年に「日本触媒化学工業(株)」に改称。戦後の石油化学工業の飛躍的発展期に酸化エチレン、アクリル樹脂、ポリエステルなどの開発事業で成功を収め、その後も同社の中核事業となっている。
- ・近年では、高吸水性樹脂の分野でも世界トップシェアを誇る

【事業内容】

酸化エチレン (EO) 事業、アクリル事業、精密・機能性化学品事業、電子情報材料事業
新エネルギー・触媒事業

【拠 点】

- ・大阪本社、東京本社、川崎製造所及び川崎地区研究所、姫路製造所及び姫路地区研究所、吹田地区研究所及び吹田工場、筑波地区研究所
- ・アメリカ、ベルギー、シンガポール、インドネシア、中国、韓国、台湾